

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その3

北海道教育委員会の「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、子どもたちの学力・体力・生活力などに関する包括的な取組を行っています。今回は、「人材育成・近隣校との連携」について紹介いたします。

人材育成の目的は、教員の成長を支援し、学校力を高めることにあります。そこで、若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成を目指した取組として、4月から年間20回のテーマ別研修を計画し、実施しているところです。さらに近隣校との連携も進めるため、今年度は、江差小学校・江差北小学校・江差北中学校の若手教員とともにテーマ別研修を進めています。



これまでのテーマ別研修については、以下のとおりです。

平成28年度 放課後テーマ別研修 年間計画			
回	期 日	担 当 者	研 修 内 容
1	4月 4日（水）	佐藤 亮樹教諭（南小）	「学級開きのツボ」
2	4月21日（木）	木村 英明校長（南小）	「今 若手教員に伝えたいこと」
3	5月10日（火）	佐藤 亮樹教諭（南小）	「家庭との連携」
4	5月19日（木）	笹木 央教諭（江差小）	「体づくり運動～実技講習」
5	6月 9日（木）	佐久間義人事務職員（南小）	「ビジネスマナーについて」
6	6月23日（金）	山本 雅樹教諭（南小）	「ふるさと江差発見学習の取組」

テーマ別研修については、毎回参加者にアンケートをお願いしています。A・B・C・Dの4段階評価を実施しています。6月までの実施においては、A評価が9割以上と肯定的な評価をいただきました。

【参加された若手教員からの感想】

- ・学級づくりや新学期のスタートということで、いかに良いスタートを切ることが出来るかが、重要だと感じました。
- ・子どもと保護者と向き合いながら、どのような教員になりたいかというところで、自分ももう一度志を考え直してみようと思いました。
- ・体を動かせばよいということだけでなく、仲間づくり等心の面での指導をすることが分りました。縄跳びだけでも様々な種類の学び方ができ、工夫することの楽しさを知ることができました。

主に若手教員を対象に進めているテーマ別研修については、3月までに月1回から2回の開催で続いていきます。「いじめ・不登校未然防止の取組」や「特別な支援を要する児童への指導と校内体制の充実」「授業づくりのアイデア」等といった内容の研修が予定されています。

テーマ別研修とは別に、7月1日（金）には、公開研究会を予定しています。「学びを広げ、深めていく子どもの育成～習得型学習と活用・探究型学習の授業実践を通して～」を研究主題として取り組んできたことを公開します。

尚、本校の研修会に参加された方々の声は、今後の校内研修及びテーマ別研修の充実に生かしたいと考えています。